

ワークショップだより

令和7年5月発行

発行：広島市佐伯区

農林建設部

維持管理課

電話：082-943-9748



第1回ワークショップを開催しました

海老山公園の再整備基本計画を策定するために「海老山公園の再整備に向けたワークショップ」を開催し、様々な立場の方々にお集まりいただき、これからの海老山公園の使い方、そのために必要な整備内容について意見交換を行いました。

＜開催概要＞

日 時：令和7年(2025年)5月10日(土曜日)
14時～16時

場 所：佐伯区役所別館6階 大会議室

参加者：31名(4グループによるグループワーク)

プログラム

●情報共有

海老山公園の現状と課題、ゾーニング(素案)について

●グループワークと全体発表

これからの使い方(遊び、憩い、学び、防災など)

ワークショップの様子

①情報提供



令和6年度に実施したアンケート調査やヒアリング調査の結果のほか、「海老山公園再整備基本構想」で示した整備イメージなどについて共有しました。



◆海老山公園 整備テーマ◆

海老山の豊かな自然と歴史を生かした
「にぎわい(交流)」や「やすらぎ(憩い)」、
「あんしん(防災)」の森を継承する。

- ①「交流・憩い」⇒利用価値の充実
- ②「防災」⇒緊急避難場所機能の充実
- ③「みんなで継承」⇒官民連携による適正な管理運営

②グループワーク



4つのグループに分かれて、グループごとに「交流・憩い・遊び」、「歴史・自然・学び」、「防災」といういずれかの視点で、海老山公園の使い方、そのために必要な整備内容などについて話し合いました。



③全体発表

話し合われた結果を参加者の皆さんと共有しました。



A グループ
(交流・憩い・遊び)



B グループ
(交流・憩い・遊び)



C グループ
(歴史・自然・学び)



D グループ
(防災)



ワークショップで話し合われた意見(抜粋)



グループワークでは、海老山公園の特徴を踏まえ、地域の他の公園と海老山公園との役割分担も意識して、海老山公園をどのように活用していくべきか、それぞれの視点で話し合いました。話し合われた主な意見は次の通りです。

交流・憩い・遊び

項 目	主な意見	
交 流	・ サマーフェスタなど地域まつりの会場に ・ 四季を活かしたイベント ・ BBQ のルール(可能な場所、炭の処理) ・ 音楽を楽しめる場(近隣住民へ要配慮) ・ イベントステージづくり、円形劇場	・ 桜のライトアップ ・ 防災運動会 ・ 眺望をいかした花火大会 ・ 小学生の遠足誘致 ・ 他の公園との差別化(役割分担) など
憩 い	・ ゆったり過ごしたい(屋根のある場) ・ 頂上の屋根付き休憩所(最も高い場所に) ・ 桜咲く広場を見渡せる場所	・ 斜面を活用した階段状のベンチ ・ 手作りの憩いの場 ・ 誰もが使いやすいトイレ など
遊 び	・ 多世代が遊べる場。幼児、小学生、高齢者が遊べる場所のゾーニング ・ 斜面を活かしたアスレチック、ボルダリング ・ 水遊び場(桜以外の時期の遊び)	・ 竹など自然を活用したイベント(そうめん流し、竹灯籠づくりなど) ・ テニスの壁打ち ・ トレイルランの練習 など
その他	・ 維持管理主体を決めないと持続できない ・ これからも地域の情報交流が必要 ・ 地元の集まる場として会館の修繕	・ 公民館や活動グループ同士の連携活動 ・ バリアフリー化 ・ 案内標識、総合案内板 ・ イベントで利用できる屋根(20 人くらい)
キーワード	・多世代の利用 ・B B Qのルール ・四季を楽しむ ・音楽を楽しむ ・手作り ・自然の活用 ・地域主体のイベント ・地域の継続的な情報交流 ・管理運営の担い手	

歴史・自然・学び

項 目	主な意見	
歴 史	・ 定期的な散策イベントで歴史の見える化 ・ 数種類のアイテムを織り交ぜ、テーマ性をもった歴史散策ルートの整備 ・ 歴史(由緒)の案内板の設置	・ 説明だけでは面白い歴史が伝わらない SNS(動画等)での配信、呼びかけ ・ 広島湾の学習により ・お城をつくりたい ・ 海老山にちなんだ銘菓の復元 など
自 然	・ 海老山は市街地に残る野山 ・ 周囲から見て海老山と認識できる工夫(ライトアップなど) ・ こども主体で植生紹介	・ 星空観賞会やジップラインの整備 ・ きれいな芝生地 ・樹名板 ・ アニメ「薬屋のひとりごと」人気にあやかっ て植生(ハーブ)を活かす など
その他	・ 最先端のトイレ(東京の透明トイレのような汚されにくいトイレ)	・ 奇抜なトイレにはしない
キーワード	・散策 ・歴史の案内板 ・SNS(動画等)の活用 ・ライトアップ ・草木活用 ・トイレ	

防災

項 目	主な意見	
災害時の使われ方	・ 一次避難場所(最大 3 日間)	・ 災害、避難情報の収集・発信場所
必要な施設	・ 避難路の整備(願わくばスロープ) ・ 避難所、情報集積、発信所としての整備	・ 照明 ・手すり ・非常用トイレ ・防寒 ・ 電気 ・水道 ・施設の位置図 など
日常から取り組んでおくべきこと	・ 地域全体での防災訓練、防災チェック ・ 参加しやすい避難訓練 ・ 自治会などを活用したコミュニケーション ・ 地域と学校が連携した整備、仕組みづくり	・ 避難弱者の避難行動を若者などが補完する仕組みづくり ・ 事前情報(住民の属性等)の取得 など
その他	・ 災害弱者(子ども、高齢者等)をどう守るか	・ 公園周辺は標高が低いという認識 など
キーワード	・一次避難場所 ・避難路 ・コミュニティ ・情報 ・訓練 ・学校との連携 ・災害弱者	

《次回のお知らせ》

第 2 回ワークショップは、次の日程、内容で開催予定です。

日 時: 令和 7 年(2025 年)6 月 14 日(土曜日)
14 時~16 時

場 所: 佐伯区役所別館6階 大会議室

ワークショップの内容

- 情報共有 : 再整備基本計画案の提示
- グループワーク: 再整備基本計画案について